

## 令和5年度和歌山県立那賀高等学校第3回学校運営協議会議事録

1 日 時 令和6年2月26日(月) 10:00～11:40

2 会 場 那賀高等学校 会議室

3 日 程

(1) 開 会

(2) 校長あいさつ

会長あいさつ

(3) 出席：岸田正幸 大西英喜 白井雄祐 兼本得善 森文哉

欠席者：福山晴美 細田能成

傍聴者：教頭 事務長 特別活動部長 1年学年主任

(4) 協議題

### 【1】令和5年度学校評価シートについて

(校長から説明)

(校長) シート説明の前に高校入試一般出願状況、くくり募集について説明。今年から新たに3校実施。今年の中学3年生、那賀地方は、50名減となっている。来年度の和歌山市の中学3年生は200名減、那賀地方は、ほぼ増減なしの見込みである。続いて、評価シートの自己評価の評価を説明。重点目標4点をそれぞれ説明。

(意見)

- ・行事のスリム化は、学校の特色をどうするかで決まる。那賀高校の魅力は何かを明確にする。
- ・進路の部分で評価しにくい指標になっているのではないか。
- ・軸の立て方を考える。見えにくいものが軸となっている。評価しやすいように。例えば、生徒の進路希望と実際の進路先の比較などがある。スクールポリシーとの関係性。柱の見直しを検討してはどうか。5つでもよい。評価指標の立て方を検討。具体的な数値などを盛り込む。
- ・チーム那高の意識づけで、教員の服装で揃いのシャツなどあればよい。みんなでそろえるなど。
- ・大学や白浜町の揃いのシャツなどもある。
- ・国際科の希望が少ないので、活動内容をもっとホームページやSNSでアピールしてはどうか。
- ・シアトル研修の価格が高くなってきている。海外研修のあり方を考える。普通科と国際科どちらでも参加できるなど。地域に貢献することの具体例として、文化祭での取り組みや地域の人も参加してもらうなど。

### 【2】来年度の取り組みについて

- ・総合的な探求の時間に協議会も直接関わっていく。
- ・今年度のテーマの調べ学習で那賀振興局に来ていただいた。
- ・来年度、協議会事業としても発展した形で実行していく。

### 【3】 那賀高校の将来について

- ・ 那賀高校の魅力を上げていくには、岩出市の魅力を上げていく必要がある。例えば、岩出駅前再開発。ふみきりが危ない。交通インフラ。星林高校国際交流科は、倍率高い。なぜか。検証してみてもどうか。

### 【4】 その他

総探発表会の案内、来年度の委員のお願い。岩出市魅力案内パンフなど。

### (5) 閉会

校長謝辞

## 4 資料

- (1) 令和5年度学校評価シート
- (2) 地域貢献・国際交流実施状況
- (3) 二年生総探発表会案内
- (4) 令和6年度入試一般出願状況
- (5) 育友会だより
- (6) 第2回議事録

